

（仮称）葛飾区移動等円滑化促進方針（素案）に係る区民意見提出手続（パブリック・コメント手続）の実施結果

- 1 閲覧・意見提出期間 令和6年12月16日（月）から令和7年1月14日（火）まで

- 2 閲覧場所
大人 区政情報コーナー、区民事務所（6か所）、区民サービスコーナー（3か所）、
図書館（図書館7か所、地区図書館6か所）、調整課窓口、区ホームページ

子ども 区立小学校（50校）及び中学校（24校）

- 3 意見数等
意見提出者 46人（うち、大人4人、子ども42人※） ※意見記入のない33人を含む
意見総数 21件（うち、大人8件、子ども13件）

- 4 寄せられた意見の概要と 別紙のとおり
区の考え方

(仮称) 葛飾区移動等円滑化促進方針(素案) の区民意見提出手続(パブリック・コメント手続) により提出された意見の概要と区の考え方(大人からの意見)

【取扱いの凡例】◎：(仮称) 葛飾区移動等円滑化促進方針(案) へ反映する ○：既に(仮称) 葛飾区移動等円滑化促進方針(素案) に入っている
△：意見・要望としてお聞きし、今後の参考にす

No.	関連する部分	意見の要旨	取扱い	区の考え方
1	2章	路線バス網の他にグリーンスローモビリティもありますが、現状として取り上げていただきたいと思います。また自転車関連、例えば、サイクルアンドバスライド、シェアサイクルにも記載して頂きたいと思います。距離によっては、路線バスと自転車は競合するからです。	△	促進方針の交通状況は、区内の全ての交通手段ではなく、代表的な交通として鉄道とバスの状況を記載しております。 なお、ご意見にあるグリーンスローモビリティやサイクル&バスライド等の様々な交通手段の現状については、公共交通の充実にに向けた取組を進める中で整理してまいります。
2	3章	3-11の自転車駐輪場ですが、京成押上線の高架化に合わせて、地下機械式を含む駐輪場の設置で駐輪台数を増やす、バス便の少ない地域向けにシェアサイクルの充実も課題だと思えます。	△	駐輪場やシェアサイクルの充実に関する課題に対しては、「葛飾区自転車活用推進計画(令和4年2月)」に基づき、各施策を実施しております。
3	3章	3-12の道路では立石8丁目と奥戸総合スポーツセンターを結ぶ奥戸橋は中川大橋、本奥戸橋、青砥橋と比較して勾配が特にきつい箇所が長く続きます。また、奥戸橋の歩道側は階段のため、自転車や車いすなどの利用が困難になっています。将来的に架替かエレベータなど設置して利用しやすくする必要があります。	△	4章に記載の基本方針の1つに「施設等のバリアフリーの推進」を掲げており、施設の整備や改修に当たっては、バリアフリー化を推進してまいります。 なお、奥戸橋に関するご意見については、今後の改修時の参考意見とさせていただきます。
4	3章	3-13の公園ですが、未だに和式トイレのみで使いにくい所があるので洋式化や車いす対応が課題です。また、ダスト舗装は遊び場として必ずしも使いやすくなく、転んだ時にも擦り傷になりやすいため、ゴムチップ舗装や人工芝でインクルーシブ化の一環として検討すべき余地があります。	△	公園トイレの洋式化や車いす対応については、4章に記載の基本方針1「施設等のバリアフリーの推進」に基づく取組として、公園の新設・改修時にバリアフリースイートイレなど、使いやすいトイレの整備を推進してまいります。 また、ゴムチップ舗装や人工芝の整備については、今後の公園整備の参考意見とさせていただきます。

【取扱いの凡例】◎：（仮称）葛飾区移動等円滑化促進方針（案）へ反映する ○：既に（仮称）葛飾区移動等円滑化促進方針（素案）に入っている
△：意見・要望としてお聞きし、今後の参考にする

No.	関連する部分	意見の要旨	取扱い	区の考え方
5	4章	ホームページがリニューアル前もものすごく分かりづらかったけど、リニューアルしても分かりづらいし、色使いが葛飾らしさはないし見づらく目が疲れます。	△	4章に記載の基本方針の1つに「情報のバリアフリーの推進」を掲げており、全ての人にとって分かりやすい情報提供が必要であると考えております。 ホームページに関していただいたご意見については、今後のリニューアル時の参考意見とさせていただきます。
6	4章	4-2「基本目標」→「実現に向けての目標」、基本目標を「あらゆる世代が安全・安心に、そして持続可能な未来を快適に住み続けられる「葛飾」をともに造る。」 4-3「基本目標を実現するための基本方針」→「目標を実現するための3つ方向性」 にそれぞれ表現を変えることで伝わりやすいと思います。	△	基本目標は、促進方針の上位計画である「葛飾区基本構想（令和3年3月）」の「本区の将来像」から文言を準用しております。また、この基本目標を実現するための方向性として、3つの基本方針を設定しております。 ご意見については同意義と考えておりますので、参考意見とさせていただきます。
7	6章	重点整備地区の設定と基本構想の策定について 「現在のバリアフリー基本構想（重点整備地区：金町、立石、新小岩）の更新や、その他の地域においても、まちづくりの進捗を見据えながら重点整備地区を設定し、具体的な事業を位置付けた特定事業を実施するための基本構想を策定していきます。なお、基本構想の策定に当たっては、隣接自治体の施設等も考慮していきます。」とあり、基本構想を今後策定に関して、事前に情報公開して、区民の声を聴いてほしいです。特に、障害のある区民に意見を出してもらいたいと思います。	△	促進方針の策定に当たっては、障害のある方等の団体をはじめ、公募区民、交通事業者等で構成される策定協議会において検討を進めてまいりました。そのため、基本構想の策定時においても、障害のある方等のご意見を含め、広く区民の声をいただきながら取り組んでまいります。
8	その他	総合福祉センターであるウェルピアの直通バスを復活させてください。障害のある方が都バスの駅から10分以上掛けて歩いて通われています。誰もが安心して通える場であってほしいです。	△	ウェルピアかつしかを発着していた路線バスは、運転手不足やコロナ禍以降の利用者数の低下等を理由に令和6年4月より運行休止に至っており、運行再開の目途は立っておりません。また、当該路線に限らず、同理由により運休や減便をせざるを得ない路線もでてきており、区としても喫緊の課題と捉えております。 ご意見については、区内全体のバス路線を検討するに当たっての参考意見とさせていただきます。

かしょう かつしかくいどうとうえんかつかそくしんほうしん そあん くみんいけんでいしゅつてつづき てつづき ていしゅつ いけん がいよう く かんが かつ こ いけん
 (仮称) 葛飾区移動等円滑化促進方針 (素案) の区民意見提出手続 (パブリック・コメント手続) により提出された意見の概要と区の考え方 (子どもからの意見)

とりあつか はんれい かしょう かつしかくいどうとうえんかつかそくしんほうしん あん はんえい すで かしょう かつしかくいどうとうえんかつかそくしんほうしん そあん はい
 【取扱いの凡例】 ◎：(仮称) 葛飾区移動等円滑化促進方針 (案) へ反映する ○：既に(仮称) 葛飾区移動等円滑化促進方針 (素案) に入っている

いけん ようぼう き こんご さんこう
 △：意見・要望としてお聞きし、今後の参考にする

No.	かんれん ぶぶん 関連する部分	いけん ようし 意見の要旨	とりあつか 取扱い	く かんが かつ 区の考え方
1		だんさ 段差をなくす。	○	どうろ だんさ がっこう 道路やたてものの段差をなくしたり、学校にエレベーターを せっち 設置するなど、バリアフリー化を進めていきます。
2	どうろ 道路やたても のバリアフ	がっこう せっち 学校のエレベーター設置		なお、道路や学校などのバリアフリー化については、素案の p4-5に記載しています。
3	リーについて のご意見	つく おも つく かね 作るのはとてもよいことだと思うが、作ることでお金の つか こうじ めいわく かんきょうおせん 使ったり、工事で迷惑や環境汚染にもつながってしまうのでその かんが つく おも ことはよく考えて作ってほしいと思う。	△	いけん こうじ かね いがい ご意見のとおり、バリアフリーの工事には、お金のこと以外 ちようせい ひつよう にもたくさんの調整が必要です。そのため、みなさんの意見を き かんが か 聞きながら、よく考えてバリアフリー化していくことが大切で す。
4	こころ 心のバリアフ リーについて のご意見	しょうがいしゃ まわ ちが たいど ふまん ひと びょうどう 障害者でも周りとは違う態度に不満がある人もいるので平等に せつ 接していきたい。	○	く ひと あんぜん あんしん かいてき く 区としても、すべての人が安全・安心・快適に暮らせるまち こころ すす にするために、「心のバリアフリー」も進めていきます。 こころ か そあん なお、心のバリアフリー化については、素案のp4-6～4-8に きさい 記載しています。

とりあつか はんれい かしょう かつしかくいどうとうえんかつかそくしんほうしん あん はんえい すで かしょう かつしかくいどうとうえんかつかそくしんほうしん そあん はい
 【取扱いの凡例】◎：（仮称）葛飾区移動等円滑化促進方針（案）へ反映する ○：既に（仮称）葛飾区移動等円滑化促進方針（素案）に入っている

いけん ようぼう き こんご さんごう
 △：意見・要望としてお聞きし、今後の参考にする

No.	かんれん ぶぶん 関連する部分	いけん ようし 意見の要旨	とりあつか 取扱い	く かんが かつ 区の考え方
5	5 心 (こころ) のバリアフ リー (いけん) について のご意見 (いけん)	わたし す ちいき しばまた しかくしょうがいしゃ かつ す 私が住んでいる地域（柴又）には視覚障害者の方が住んでい る。その方を学校から下校するときによく見かける。その方が歩 いていると毎回違う人が視覚障害者の方と一緒に歩いている。後 に一緒に歩いている人は視覚障害者の方を助けている（補助）こ とが分かった。それだけでも素晴らしいのにもうひとつすごいこ とがある。それは毎回違う人が助けている（補助）ことだ。 ひとりひとり しかくしょうがいしゃ かつ おも も たす 1人1人が視覚障害者の方に思いやりを持って助けていることに わたし ほこ おも 私は誇りに思った。 しばまた やさ ひと す 柴又にはたくさんの優しい人が住んでいるからだ。 わたし しばまた す いちいん しかくしょうがいしゃ かつ 私も柴又に住んでいる一員として視覚障害者に関わらずたくさ んの (ひと たす) 人を助けたいと思った。 (おも)	○	ひとりひとり おも も こうどう 一人一人が思いやりのこころを持って行動することはとても たいせつ 大切です。 く かつしかく あんぜん あんしん かいてき く 区としても、葛飾区がより安全・安心・快適に暮らせるまち になるようにみなさんと一緒になって進めていきます。 ところ か そあん なお、心 (こころ) のバリアフリー化 (か) については、素案 (そあん) のp4-6～4-8に きさい 記載 (きさい) しています。

とりあつか はんれい かしょう かつしかくいどうとうえんかつかさくしんほうしん あん はんえい すで かしょう かつしかくいどうとうえんかつかさくしんほうしん そあん はい
 【取扱いの凡例】◎：（仮称）葛飾区移動等円滑化促進方針（案）へ反映する ○：既に（仮称）葛飾区移動等円滑化促進方針（素案）に入っている

いけん ようぼう き こんご さんこう
 △：意見・要望としてお聞きし、今後の参考にする

No.	かんれん ぶぶん 関連する部分	いけん ようし 意見の要旨	とりあつか 取扱い	く かんが かつた 区の方考え方
6	こんかい 今回バリアフ リーに対して おも 思ったこと かん (感じたこ と)	たす ひつよう ひと せっきよくできたす 助けが必要な人がいたら、積極的に助けていきたい。	○	とりくみ ひと あんしん あんぜん かいてき せ バリアフリーの取組は、すべての人が安心・安全・快適に生 いかつ たいせつ 活するために、とても大切なものです。 く こんご きょうりよく おお 区は、今後もみなさんと協力しながら、バリアフリーを多く ひと し いろいろ とりくみ すす の人に知ってもらえるように色々な取組を進めていきます。 なお、バリアフリーを多くの人に知ってもらうことについて そあん きさい は、素案のp4-6に記載しています。
7		いまかんが み まわ 今考えればバリアフリーのものは身の回りにいっぱいあると おも 思った。		
8		くる ひと すく たいせつ バリアに苦しんでいる人々を救うためにバリアフリーは大切 おも だと思った。		
9		ひと せつび たいせつ か もの おも 人のための設備はとても大切で欠かせない物だと思いました。		
10		かつどう たす ひと みんなの活動によって助かる人がたくさんいるのでバリアフ りーをつく よ おも と く リーを作っていくことはとても良いと思い、そのことに取り組む かつどう よ おも 活動も良いと思う。		
11		ふ せいかつ らく こま バリアフリーを増やすとみんなの生活が楽になったり困らなく おも なったりすると思った。		
12	りよう ひと ふ ふきゅう バリアフリーを利用する人が増えてきているから、もっと普及 してほしいです。			

とりあつか はんれい かしょう かつしかくいどうとうえんかつかさくしんほうしん あん はんえい すで かしょう かつしかくいどうとうえんかつかさくしんほうしん そあん はい
 【取扱いの凡例】◎：（仮称）葛飾区移動等円滑化促進方針（案）へ反映する ○：既に（仮称）葛飾区移動等円滑化促進方針（素案）に入っている

いけん ようぼう き こんご さんこう
 △：意見・要望としてお聞きし、今後の参考にする

No.	かんれん ぶぶん 関連する部分	いけん ようし 意見の要旨	とりあつか 取扱い	く かんが かつ 区 の 考 え 方
13	こんかい 今回バリアフ ーに対して おも 思ったこと かん （感じたこ と）	わたし ほんとう ひつよう ひと とど おも たと 私は本当に必要な人にバリアフリーが届いていないと思う。例 えば駐車場にある車椅子専用の場所がある。その場所に近いから などの理由で車を止めている人がいる。そのような事態があり本 当に必要な人にバリアフリーが届いていないと思う。他にもバス や電車での優先席、エレベーターなど例を挙げればたくさんあ る。 ひとりひとり いしき ほんとう ひつよう ひと 1人1人がバリアフリーを意識して本当に必要な人にバリアフ ーが届くために努力すれば良いと私は思う。だからといって 「葛飾のバリアフリー活動に入ろう！」ということではない。 自分自身の本当にこの支援が必要か？ 他に支援が必要な人がいないか？ 私たち1人の優しさでも困っている人は助かると思う。 今私たちに何ができるか？それを考えるのが小さな私たちでも できる小さなバリアフリーだと私は思う。	○	しょうがい かつ た ちゅうしゃじょう でんしゃ ゆうせんせき 障害のある方のための駐車場やバスや電車での優先席などを ほんとう ひつよう ひと つか おお もんだい 本当に必要な人が使えないことはとても大きな問題です。 ひつよう ひと こま バリアフリーの必要な人がどのようなことを困っているのか いっしょ かんが ひろ おも をみなさんと一緒になって考えて、広めていきたいと思いま す。 ひろ そあん なお、バリアフリーを広めることについては、素案のp4-6に きさい 記載しています。